

World News

ロケット関連ニュース

1. Ariespace社はAriane Flight 163でAnik F2衛星の打上げに成功

7月17日 Ariespace社はフランス領ギアナの打上げ基地から Ariane 5Gで Anik F2衛星を打上げ、成功したと発表した。カナダ Telesat社の Anik F2衛星は打上げ重量 5950Kgと、Ariespace社がこれまでに打上げた事のある最も大きな商業通信衛星である。同衛星は西経 111.1 度の静止軌道上から高速インターネット及びデジタル通信のサービスを予定している。

衛星は Boeing702 衛星バスで、32本の Ku-バンドトランスポンダ、38本の Ka-バンドトランスポンダ、および24本のCバンドトランスポンダを搭載している。



ANIK F2 打上げ Ariespace 提供

フライト 163 は、Ariane 5G ロケットでは 15 番目の成功となる。カナダ Telesat 社衛星の Ariespace 社によるこれまでの打上げは、2000 年 11 月に Anik F1、1996 年 4 月に MSAT 1、1991 年 9 月に Anik E1、1991 年 4 月に Anik E2 を打上げている。

フライト 163 の打上げは 2 つの異常と悪天候で予定の打上げよりも遅れた。

Ariespace の次のミッションは 10 月の予定で打上げロケットは、Ariane 5 ECA 最大の打ち上げ能力をもつバージョンを使う予定である。打上げられる衛星は X-バンド通信衛星 XTAR-EUR (Loral Space & Communications 社と HISDESAT S.A の合弁事業会社。) と Kayser-Threde テスト衛星 ESA の衛星の 2 機である。

- Ariane 2004.07.17 プレスリリース 記事 -

2. Sea Launch社はTelstar 18が予定より低い軌道に投入された原因を調査中

Sea Launch社は同社の Zenit-3SL ロケットで Telstar 18 衛星を 6 月 29 日グリニッジ標準時の 3 時 59 分に打上げたが上部段の噴射時間が予定より短い時間でシャットダウンをした為、遠地点 35,786km の切り離し予定軌道に対し 21,605km と約 14,000km も低い軌道で衛星を軌道投入した。



Telstar 18 打上げ Sea Launch 提供

同衛星打上を発注した Space Systems/Loral社はオーストラリアのパースの追跡局で、衛星の信号を受信、その後すぐに衛星がロケットから切り離され、衛星が正常に動作している事を確認した。

計画通りの軌道に衛星が投入されていれば13年以上の衛星寿命に設計されていた。Telstar 18衛星は現在ソーラーセルが展開され、すべての衛星機能は設計通り働いている。



Telstar 18 打上げ Sea Launch 提供

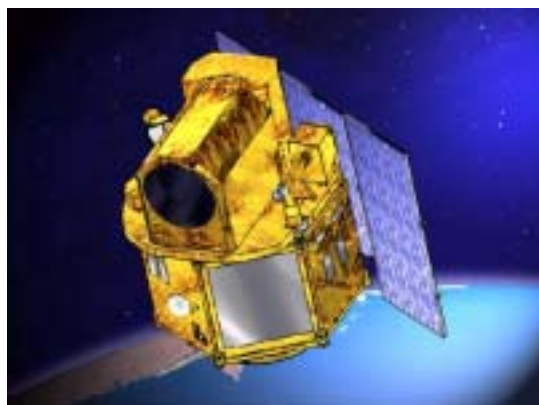
ロケット上部段のシャットダウンの原因は、Energia が任命した委員会の調査下にあります。Sea Launch社は、すべての原因究明をする為に、独立なレビューボードをつくり立証するつもりである。同社は、原因究明は短時間で終わると楽観しており今年の計画通り、今後2機を打上げる予定である。

- Sea Launch 2004.7. 2 プレリリース 記事 -

衛星関連ニュース

1. EADS Astrium タイの光学地球観測衛星システムを契約

EADS Astriumは、7月19日バンコクで、宇宙科学技術省(GISTDA)とTHEOS(the Thai Earth Observation System)、タイ光学地球観測衛星システムの契約にサインした。



THEOS 衛星 EADS Astrium 提供

THEOSはGISTDAにより所管運用され、地図製作、土地利用、農業監視、森林管理、領海監視、および洪水リスク管理の為に、世界中の参照を付けられた地域のイメージデータと画像処理機能をタイに提供する。



Image Data Delivery EADS Astrium 提供

THEOS は、2 日以内にタイのどのような部分へのアクセスでも提供する。 THEOS 契約は、衛星の管制地球局、必要な地上装置の開発、光学観測衛星 1 機の製造および打上げの全てを含んでいる。 この契約には、もちろん、地球観測データをアーカイブし、イメージ処理装置を有する最先端データ処理センターも含まれている。 THEOS 衛星は、SPOT と METOP 衛星で始めたこの分野の EADS Astrium の広範囲の経験から、EADS Astrium 光学地球観測高性能衛星「AstroSat」で培った製品実績、およびその利点に基づいている。 THEOS 契約には、タイの技術者が EADS Astrium 開発チームに加入して、集中的な宇宙プログラムの訓練に参加する内容が含まれている。 この協力契約は、タイの GISTDA と宇宙開発のさらなる前進の一助となる。 THEOS 衛星ペイロードの特長は、パンクロモードの高分解能モードと広角視野のマルチスペクトラムモード光学センサーを搭載する。 衛星は高度 820km の太陽同期軌道に 2007 中旬に打上げられる計画である。

衛星主要性能

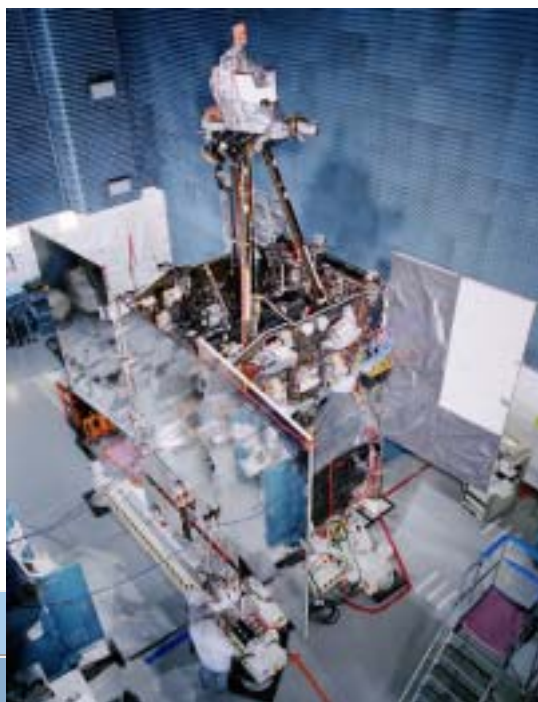
衛星バス	
打上げ重量	750 kg
太陽電池パドル発生電力	800 W
3 軸高精度姿勢制御	
ジャイロ/高精度姿勢決定	
完全炭化珪素 パンクロマティック望遠鏡	
高解像度	2m
視野角	22 km

屈折マルチスペクトラル装置	
広角視野範囲	90 km
解像度	15 m
4 バンド可視チャンネル	[0,45 E0,9] μm

-EADS Astrium 社 2004.7.19 プレスリリース 記事

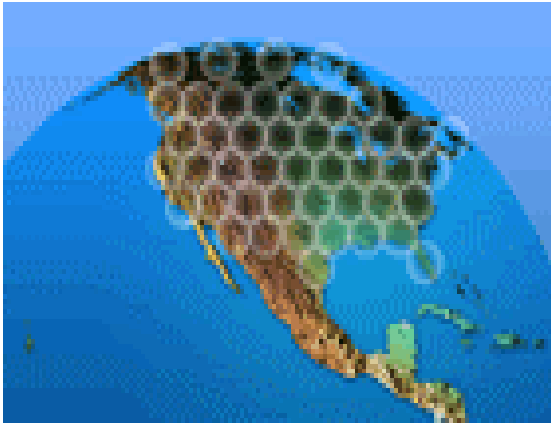
2. Boeing 製 Anik F2 衛星打ち上げ成功

Anik F2 衛星は 7 月 17 日フランス領ギアナの宇宙基地から打上げられた。衛星は北アメリカで最初の広帯域衛星通信サービスを目的とする。



Anik F2 Boeing 社提供

Telesat 社は世界で最も長い商業衛星オペレータで、合衆国からアラスカとカナダの北の範囲でのビジネス費用効率の高い、双方向高速なインターネットアクセスを消費者に可能にするために、Anik F2 を使用する計画である。 具体的サービスには、遠隔教育、遠隔保険、および遠隔サービス等新しい政府広帯域サービスも予定してい



Anik F2 サービス範囲 Boeing 社提供

る。この衛星は Ka-バンド、C バンド、および Ku-バンドトランスポンダを搭載すると共に軌道補正用キセノンイオン推進システムを搭載し西経 111.1 度の静止軌道に配置される。Anik F2 は、Boeing が契約した Telesat 社の第 3 世代の衛星である Anik F2 は、Anik A1 が 1972 年に打上げられて以来、Telesat が配備する 10 番目の Boeing 社で製造された衛星となる。

-Boeing 社 2004.7.17 プレスリリース 記事-